

ク ラ ス		受験番号	
出席番号		氏 名	

2012年度 第3回 全統記述模試

学 習 の 手 引 き 【解答・解説集】

英 語

【2012年10月実施】

河合塾

【英 語】

『学習の手引き』を読むにあたって

この『学習の手引き』には、問題の解説は言うまでもなく、その問題のねらい、さらには今後の学習に役立つ指針が書かれています。この『学習の手引き』をじっくり読むことで、十分な復習をして、入試対策に万全を期してください。

1. 星印について

星印は、入試のレベルから見た場合に、それぞれの出題テーマ・設問形式において、どの程度の頻度と難易度の問題であるかを大まかに示しています。学習の目安にしてください。

- ★☆☆ 基本 難易度が低く、基礎的な内容の問題。
- ★★☆ 標準 難易度が標準的で、重要度が最も高い問題。
- ★★★ 発展 難易度が高く、応用的な内容を含む問題。

2. 解説について

【ポイント】 正答を得るための鍵となる知識や着眼点を示します。

- ▶ 追加・補足的な解説を示しています。
- ▷ 誤った解答と、それがなぜ間違っているかを示しています。

file 理解しておきたい文法・構文のワンポイント解説や、語い・熟語・語法に関する知識のまとめです。

【本文解説】 長文総合問題での英文本体の文ごとの解説です。1), 2), 3) ... は文番号を示します。

3. 『学習の手引き』で用いた略号

S	主語(原則として名詞)
V	動詞
O(O ₁ / O ₂)	目的語(原則として名詞)
C	補語(原則として名詞・形容詞・分詞)
A	前置詞の目的語
X / Y	成句の表現で共通関係にある要素
one's	人称代名詞の所有格
to do	to 不定詞
do	原形動詞・原形不定詞
doing	現在分詞もしくは動名詞
done	過去分詞
does	現在形
did	過去形
have done	完了形
that 節	接続詞 that によって導かれる節
wh-節	when / where / why / how / whether などに導かれる節
[]	言い換えることができる語句
()	省略することができる語句
/	語句・訳語などの列挙

1 Listening Comprehension

【解答】

1. (D) 2. (A) 3. (D) 4. (B) 5. (B)

【配点】(15点)

各3点×5

【放送された英文と訳】

1) Antarctica is the fifth largest continent. 2) Its area is about 5.5 million square miles, but its climate has kept the population from exceeding a few thousand. 3) With an average temperature of 70 degrees below zero Fahrenheit and a surface that is 98 percent covered in ice, Antarctica has very few native plants and animals.

4) Antarctica was unknown to humans until American seal hunter John Davis first arrived there in 1821. 5) For the next hundred years, a dozen countries shared the continent. 6) Some — such as Norway and Sweden — were interested in whaling and fur sealing. 7) Others — Britain and the United States, for example — were primarily concerned with exploration and scientific research. 8) First to reach the South Pole was Norway's Roald Amundsen in 1911. 9) The continent was mapped in the late 1920s, setting off an international land rush.

10) In 1959, twelve nations including the United States and the Soviet Union signed the Antarctic Treaty. 11) It guarantees cooperation and free movement among scientific operations, prohibits military activities, and suspends indefinitely all territorial claims. 12) Under the treaty, Antarctica is now governed through consultative meetings of the twenty-seven nations that maintain extensive Antarctic facilities. 13) Most meetings focus on environmental protection: in 1991, the group banned oil and mineral exploration for the next fifty years. 14) They have also restricted fishing and banned sealing altogether. 15) American laws apply to U.S. nationals in Antarctica, except when they are in foreign-operated research stations.

16) Since adoption of the treaty, Antarctica has been inhabited exclusively by scientific researchers and support staff. 17) Antarctica is uniquely suited to many types of research, including astronomy, atmospheric science, meteorology, oceanography, and geophysics. 18) There are 80 research stations scattered across Antarctica, but only 40 of them are active in the winter. 19) McMurdo Station, run by the United States, is the largest, with 80 buildings and 1,000 summer residents. 20) The settlements are isolated during the eight winter months. 21) From March to October, brutal weather makes air travel almost impossible. 22) As a result, few researchers stay in Antarctica for more than one or two years at a time.

1) 南極大陸は5番目に大きい大陸である。
2) 南極大陸の面積は約550万平方マイルあるが、その気候のせいで南極の人口は今まで数千人を超えることはなかった。 3) 平均気温が華氏マイナス70度で、地表は98パーセントが凍っているの
で、南極大陸には原産の動植物はほんのわずかし
か存在しない。

4) アメリカのアザラシ狩りの猟師であったジョン・デイビスが1821年に初めて到達するまで、南極大陸は人類には知られていなかった。 5) その後の百年間、10ヶ国余りが南極大陸を共に使っていた。 6) 捕鯨や毛皮のためのアザラシ狩りに関心を持っていた、ノルウェーやスウェーデンのような国もあった。 7) 主として実地踏査と科学研究に関心を持っていた、例えばイギリスやアメリカ合衆国のような国もあった。 8) 最初に南極点に到達したのは、ノルウェーのロアルド・アムンゼンで、それは1911年のことであった。 9) 南極大陸の地図は1920年代の終わり頃に作られ、世界中の国々が土地を求めて殺到するきっかけとなった。

10) 1959年に、アメリカ合衆国とソビエト連邦を含む12の国々が、南極条約を調印した。 11) それは、科学的事業における協力と行動の自由を保障し、軍事活動を禁止し、そしてあらゆる領有権の主張を無期限に停止している。 12) その条約の下で、南極大陸は現在、広範囲に存在する南極の基地設備を維持する27ヶ国からなる協議会に

よって統治されている。13) ほとんどの会議は環境保護を重点的に扱っている。1991年に、その協議会は石油と鉱物の探査をその後50年間禁止した。14) 協議会はまた、漁獲を制限し、アザラシ狩りを全面的に禁止している。15) アメリカ合衆国の法律は南極大陸にいるアメリカ国民に適用されるが、彼らが他国の運営する研究基地にいる場合は例外である。

16) 南極条約が採択されて以来、南極大陸に住んでいるのは、科学研究者とそのサポートスタッフのみである。17) 南極大陸は、天文学、大気学、気象学、海洋学、そして地球物理学を含む、多くの種類の研究に、他の場所と比べようもないほどに向いている。18) 南極大陸には、80の研究基地が点在しているが、冬期に活動しているのはそのうちの40のみである。19) マクマード基地は、合衆国が運営しているが、最大の基地であり、80の建物と1,000人の夏期居住者がいる。20) 冬期の8ヶ月にわたって、居住地は孤立する。21) 3月から10月まで、過酷な気候のせいで、空路による移動がほとんど不可能になる。22) その結果、一度に1、2年を超えて南極大陸に滞在する研究者はほとんどいないのである。

【語句・表現】

- Antarctica 「南極大陸」
- continent 「大陸」
- million 「百万」
- square mile 「平方マイル」
- climate 「気候」
- keep O from *doing* 「Oが…するのを妨げる」
- exceed O 「Oを超える」
- temperature 「気温」
- Fahrenheit 「華氏」
- surface 「表面、地表」
- native 「(ある場所の) 原産の」
- seal hunter 「アザラシ狩りの猟師」
- share O 「Oを共有する」
- whaling 「捕鯨」
- fur sealing 「毛皮のためのアザラシ狩り」
- be concerned with A 「Aに関心を持っている」
- primarily 「主として」
- exploration 「探査、実地踏査」
- the South Pole 「南極点」
- map O 「Oの地図を作る」

- set O off / set off O 「Oのきっかけとなる」
- land rush 「土地を求めて人が殺到すること」
- including A 「Aを含む」
- sign O 「Oを調印する」
- the Antarctic Treaty 「南極条約」
- guarantee O 「Oを保障する」
- cooperation 「協力」
- movement 「行動」
- scientific operation 「科学的事業」
- prohibit O 「Oを禁止する」
- military activity 「軍事活動」
- suspend O 「Oを停止する」
- indefinitely 「無期限に」
- territorial claim 「領有権の主張」
- govern O 「Oを統治する」
- consultative meeting 「協議会」
- maintain O 「Oを維持する」
- extensive 「広範囲にわたる」
- facility 「施設、基地」
- focus on A 「Aを重点的に扱う」
- environmental protection 「環境保護」
- ban O 「Oを禁止する」
- mineral 「鉱物」
- restrict O 「Oを制限する」
- fishing 「漁獲」
- altogether 「完全に、全面的に」
- apply to A 「Aに当てはまる、適用される」
- U.S. nationals 「アメリカ国民」
- foreign-operated 「他国が運営する」
- adoption 「採択」
- inhabit O 「Oに居住する」
- exclusively 「もっぱら、まったく…のみ」
- be suited to A 「Aにふさわしい、Aに合っている」
- uniquely 「比類なく」
- astronomy 「天文学」
- atmospheric science 「大気学」
- meteorology 「気象学」
- oceanography 「海洋学」
- geophysics 「地球物理学」
- (be) scattered 「点在している」
- run O 「Oを運営する」
- resident 「居住者」
- settlement 「居住地」
- be isolated 「孤立している」
- brutal 「厳しい、過酷な」
- air travel 「空路による移動」

- as a result 「その結果」
- at a time 「一度に」

【設問別解説】

1. ★☆☆

【放送された質問文と訳】

What is the area of Antarctica?
南極大陸の面積はどれくらいか。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 約5万5千平方マイル。
- (B) 約55万平方マイル。
- (C) 約50万5千平方マイル。
- (D) 約550万平方マイル。

第2)文の内容より、(D)が正解。

2. ★☆☆

【放送された質問文と訳】

Who first landed on Antarctica in 1821?
1821年に初めて南極大陸に上陸したのは誰か。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) アメリカ人のアザラシ狩りの猟師。
- (B) スウェーデン人の探検家。
- (C) ノルウェー人の船乗り。
- (D) イギリス人の漁師。

第4)文の内容より、(A)が正解。

3. ★★★

【放送された質問文と訳】

Which statement is NOT true of the Antarctic Treaty?
次の記述のうち南極条約について当てはまらないのはどれか。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) 1959年に12カ国によって調印された。
- (B) 科学的事業における協力を保障している。
- (C) あらゆる領有権の主張を無期限に停止している。
- (D) 石油と鉱物の探査を永遠に禁止している。

第13)文に「1991年に、その協議会は石油と鉱物の探査をその後50年間禁止した」とあるが、「永遠に禁止している」とは述べていない。したがって、(D)が正解。

4. ★☆☆

【放送された質問文と訳】

Who or what governs Antarctica?
南極大陸を統治しているのは何か。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) アメリカ合衆国とロシア。
- (B) 数々の国々からなる協議会。
- (C) 数ヶ国のいくつかの企業。
- (D) 国際連合。

第12)文の内容より、(B)が正解。

5. ★☆☆

【放送された質問文と訳】

Which statement is true of McMurdo Station?
次の記述のうちマクマード基地について当てはまるのはどれか。

【問題冊子の選択肢の訳】

- (A) そこには18の建物がある。
- (B) それは合衆国の所有物である。
- (C) それは冬期にのみ活動している。
- (D) そこには一年中1,000人の居住者がいる。

第19)文の内容より、(B)が正解。

▷(A)は第19)文の with 80 buildings「80の建物があり」と述べていることに反する。(C)は第20)文以下で、冬期の居住は難しいと述べていることから、活動はむしろ夏期に行われていると判断できるので不可。(D)は第19)文で with ... 1,000 summer residents「1,000人の夏期居住者がいる」と述べているが、やはり第20)文以下の冬期の居住は難しいという内容から、冬期も同じ数の居住者がいるとは考えられないので不可。

② 中文空所補充問題

【解答】

- (1) (イ) (2) (ウ) (3) (エ) (4) (ア)
- (5) (ウ)

【配点】(15点)

各3点×5

【本文解説】

＜第1段落＞

- 1) All organisms need energy to carry out life processes. 2) Plants get this energy from

sunlight through photosynthesis. 3) Most other organisms, including humans, get their energy from the foods that they eat. 4) However, most of the foods we eat (1) in the forms in which they are eaten. 5) To be useful to our bodies, food must first be converted into substances that the body can absorb. 6) Digestion is the process that breaks down food into these absorbable, energy-yielding products.

1) すべての生物は、生命活動を行っていくのにエネルギーを必要とする。 2) 植物は光合成によって太陽の光からこのエネルギーを得ている。 3) 人間を含むその他のほとんどの生物は、食べ物からそのエネルギーを得る。 4) しかし、私たちが摂るほとんどの食べ物は、摂取されるままの形で使うことができない。 5) 私たちの体に役立つようにするためには、まず最初に、食べ物を体が吸収できる物質に変えなければならないのだ。 6) 消化とは、食べ物を分解して、体が吸収できる、エネルギーの元となるこうした生成物を作る過程のことである。

- 2) ・through A「Aによって」は手段・媒介を表す。
 - 3) ・挿入句の including humans は、人類が Most other organisms に含まれることを示す。
・that they eat は the foods を修飾する関係代名詞節。
 - 4) ・空所(1)については、【設問別解説】参照。
・in which they are eaten は the forms を修飾する関係代名詞節。
 - 5) ・To be useful to our bodies「私たちの体に役立つようにするためには」は、目的を表す不定詞句。
・that the body can absorb は substances を修飾する関係代名詞節。
 - 6) ・that breaks down ... products は the process を修飾する関係代名詞節。
- organism「有機体、生物」
 - energy「エネルギー」
 - carry O out / carry out O「Oを実行する」
 - life process「生命を維持する過程、生命活動」
 - plant「植物」
 - including A「Aを含む」
 - useful to A「Aに役立つ」
 - convert O into A「OをAに変える」

- substance「物質」
- absorb O「Oを吸収する」
- digestion「消化」
- break O down into A / break down O into A「Oを分解してAにする」
- absorbable「吸収できる」
- energy-yielding「エネルギーを生み出す、エネルギーの元となる」
- product「生成物」

＜第2段落＞

7) Digestion has two aspects: chemical digestion and mechanical digestion. 8) Chemical digestion breaks foods down chemically using enzymes, which are substances that promote or speed up a chemical reaction without themselves being used up in the reaction. 9) This speeding up of reactions (2) in chemistry as catalysis, and enzymes are therefore biological catalysts. 10) Nearly all enzymes are proteins. 11) Some enzymes, such as DNA polymerase, help to synthesize molecules. 12) The enzymes of digestion, in contrast, help to break down molecules. 13) Chemical digestion works on the surfaces of food fragments. 14) Mechanical digestion exposes new surface areas (3) chemical digestion by breaking fragments into smaller fragments and by removing partly digested surface material.

7) 消化には2つの側面がある。それは化学的消化と機械的消化だ。 8) 化学的消化は酵素を使って化学的に食物を分解するのだが、酵素とは、化学反応を促進したり反応速度を高めたりする物質であって、それ自身はその反応の過程で消費されないものである。 9) 反応速度を高めるこうした現象は、化学では触媒作用として知られており、酵素は、したがって、生物学的な触媒ということになる。 10) ほとんどすべての酵素はタンパク質である。 11) DNAポリメラーゼのような一部の酵素は、分子を合成するのを助ける働きをする。 12) それとは対照的に、消化酵素は分子を分解するのに役立つ。 13) 化学的消化は細くなった食物の表面に作用する。 14) 機械的消化は、食物の碎片をさらに細かいものに碎き、ある程度消化された表面の物質を取り除くことで、食べ物の表面の新しい部分を化学的消化にさ

らす働きをする。

- 8) ・ using enzymes は breaks foods down を修飾する副詞句。
- ・ which are substances ... in the reaction は、enzymes に補足説明を加える関係代名詞節。
- ・ that promote or speed up ... in the reaction は substances を修飾する関係代名詞節。
- ・ without themselves being used up in the reaction で「それ自身はその反応の過程で消費されずに」という意味。themselves は substances を受けている。
- 9) ・ 空所(2)については、【設問別解説】参照。
- 11) ・ such as の後の DNA polymerase は、Some enzymes の具体例になっている。
- 14) ・ 空所(3)については、【設問別解説】参照。
- ・ by breaking fragments into smaller fragments と by removing partly digested surface material が並列になっている。
- aspect 「側面、相」
 - chemical 「化学的な」
 - mechanical 「機械的な」
 - chemically 「化学的に」
 - promote O 「O を促進する」
 - speed O up / speed up O 「O を速くする」
 - reaction 「反応」
 - use O up / use up O 「O を消費する」
 - chemistry 「化学」
 - therefore 「したがって」
 - biological 「生物学的な」
 - catalyst 「触媒」
 - nearly all A 「ほとんどすべての A」
 - protein 「タンパク質」
 - A, such as B 「B のような A」
 - help to do 「…するのに役立つ」
 - synthesize O 「O を合成する」
 - molecule 「分子」
 - in contrast 「対照的に」
 - work on A 「A に作用する」
 - surface 「表面」
 - fragment 「細くなったもの、碎片」
 - expose O to A 「O を A にさらす」
 - remove O 「O を取り除く」
 - partly 「ある程度」
 - material 「物質、素材」

〈第3段落〉

15) The digestive system is one of the organ systems in the body. 16) An organ is a group of tissues that are integrated structurally and functionally. 17) An organ system is a group of organs that perform different parts of the same process. 18) Thus, the digestive system is a group of organs (4) together digest food. 19) The body plan of the human digestive system is a common one: from roundworms to humans, most animals have digestive systems that are a continuous hollow tube with an entrance at one end and an exit at (5).

15) 消化器系は、体の中の器官系の1つである。 16) 器官は、構造と機能の両面で統合された組織の集まりである。 17) 器官系は、同一の反応過程のさまざまな部分を遂行する器官が集まったものである。 18) したがって、消化器系は、協同して食物を消化する器官の集まりということになる。 19) 人間の消化器系の体の中での設計図は多くの生物に共通するものであって、回虫から人間に至るまで、ほとんどの動物が持っている消化器系はひとつながりの空洞の管で、その一方の端が入り口でもう一方の端が出口になっている。

- 16) ・ that are integrated structurally and functionally は tissues を修飾する関係代名詞節。
- 17) ・ that perform different parts of the same process は organs を修飾する関係代名詞節。
- 18) ・ 空所(4)については、【設問別解説】参照。
- 19) ・ a common one は a common body plan 「(多くの生物に)共通する体の設計図」の意味。直後のコロロン(:)以下で、この設計図を具体的に述べている。
- ・ that are ... at (5) は digestive systems を修飾する関係代名詞節。
- ・ with an entrance at one end and an exit at (5) は a continuous hollow tube を修飾する前置詞句。
- ・ 空所(5)については、【設問別解説】参照。
- digestive system 「消化器系」
 - organ system 「器官系」
 - organ 「(動植物の)器官、臓器」
 - tissue 「(動植物の細胞の)組織」
 - integrated 「統合された」

- structurally 「構造上」
- functionally 「機能的に」
- perform O 「Oを行う」
- digest O 「Oを消化する」
- common 「共通の、ふつうの」
- continuous 「ひとつつながりの」
- hollow 「空洞の」
- tube 「管」
- entrance 「入り口」
- end 「端」
- exit 「出口」

【設問別解説】

(1) ★☆☆

- | | |
|----------------|--------------------|
| (ア) can use | (イ) cannot be used |
| (ウ) not to use | (エ) to be used |

【ポイント】 述語動詞となり、文意が成立するものは？

空所を含む第4)文は、However, most of the foods we eat (1) in the forms in which they are eaten. となっていて、we eat は the foods を修飾する関係詞節と考えられるので、空所には主語である most of the foods we eat 「私たちが摂るほとんどの食べ物」に対する述語動詞を入れることになる。述語動詞となりうるのは助動詞 can を含む(ア)と(イ)しかないが、主語が「食べ物」であることを考えると、use を受動形で用いた cannot be used 「使われることができない」しか文意が成立しないと判断できる。したがって、(イ)が正解。

(2) ★☆☆

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (ア) are found | (イ) has majored |
| (ウ) is known | (エ) has been referred |

【ポイント】 as catalysis に着目する

空所を含む第9)文の前半部である This speeding up of reactions (2) in chemistry as catalysis は、「反応速度を高めるこうした現象は、化学では触媒作用として (2)」の意味になる。as catalysis の as に注目し、be known as C 「C として知られている」の形にすると文意が通る。したがって、(ウ)が正解。
▷(ア)の are found 「発見されている」は、文の主語 This speeding up が単数なので不可。

▷(イ)の has majored は、major in A 「A (学問)を専攻する」が人を主語にして用いる表現なので、ここでは意味を成さない。

▷(エ)の has been referred は、refer to O as C 「O を C と言う、呼ぶ」の受動態が be referred to as C という形になるので不可。

(3) ★☆☆

- | | |
|--------|--------|
| (ア) at | (イ) in |
| (ウ) on | (エ) to |

【ポイント】 expose の用法は？

動詞 expose は、expose O to A で「O を A にさらす」の意味になる。そこで空所に to を入れると、「機械的消化は、…で、食べ物の表面の新しい部分を化学的消化にさらす働きをする」となり、文意が通る。したがって、(エ)が正解。

▶by breaking fragments into smaller fragments and by removing partly digested surface material 「食物の碎片をさらに細かいものに砕き、ある程度消化された表面の物質を取り除くことで」が mechanical digestion の働きを説明している。これが食物の chemical digestion を促進するという内容が理解できないと、expose の用法を知っていても、確信をもって選択することはできない。

(4) ★☆☆

- | | |
|----------|-----------|
| (ア) that | (イ) how |
| (ウ) what | (エ) where |

【ポイント】 主格の関係代名詞になりうるものは？

空所を含む第18)文は、Thus, the digestive system is a group of organs ... 「したがって、消化器系は、…器官の集まりということになる」の部分の主節である。空所の後の together digest food は、digest が V で、その前の together は修飾語になっている。したがって、空所には主格の関係代名詞が必要になり、これが「協同して食物を消化する」の意味を表して、前にある organs を修飾することになるので、(ア)の that を選ぶ。

▷(イ)の how と(エ)の where は関係副詞であり、主語の働きができないので不可。

▷(ウ)の what は主語になりうるが、先行詞を含む関係

代名詞であって、organs を修飾できないので不可。

(5) ★☆☆

- (ア) another (イ) other
(ウ) the other (エ) the others

【ポイント】
one end に対して「もう一方の端」を何と言う？

空所を含む第19)文の後半部である a continuous hollow tube with an entrance at one end and an exit at (5) は、動物の持つ消化器系を説明するもので、「ひとつつながりの空洞の管で、その一方の端が入り口で (2) が出口になっている」の意味となる。「管」の2つある end「端」の一方を one end と言っているの、「もう一方の端」は the other end ということになる。end を省略し、the other を代名詞のように用いた(ウ)が正解。

▷(ア) the another では、「2つの端」以外に他の「端」があることになってしまうので不可。

▷(イ) the other は形容詞で、それだけでは前置詞の目的語として用いることができない。

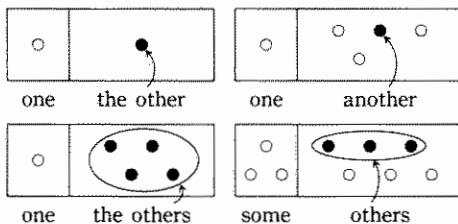
▷(エ) the others は、「残っている端」が複数あることになるので不可。

【file】「残りのもの」の表現

other は「残りのもの」の意味で、残りのすべてのものを指す場合には the がつく。複数が単数かは、指し示す残りのものの数によって決まる。

	単 数	複 数
残りのすべてのもの	the other	the others
残りのものの一部	another	others

次のように理解しておくといよい。



③ 文法・語法

【解答】

- A 1. (イ) 2. (ア) 3. (ウ) 4. (イ)
5. (ア) 6. (エ) 7. (イ) 8. (ア)
B 1. set 2. charge

【配点】(20点)

A 各2点×8 B 各2点×2

【設問別解説】

A 空所補充選択問題

1. ★☆☆

There's nothing like a good horror film to make you feel really (excited).

「心底興奮するには、よくできた恐怖映画にまざるものはない」

- (ア) excite (イ) excited
(ウ) exciting (エ) to have excited

【ポイント】
feel の補語として適切な分詞形容詞

to make 以下の不定詞句は、make O do (原形動詞)「Oに…させる」という使役動詞の表現が用いられている。この表現では原形動詞の意味上の主語はOであり、本問では feel の意味上の主語は you ということになる。その上で、feel に後続するものと考え、S (人) feel excited「Sは興奮を感じる」を元にした表現が文脈上適当だと判断できる。したがって、(イ)が正解。

▶この excited は、feel C「Cに感じる」のCにあたる分詞形容詞。分詞形容詞の用法については以下の

【file】参照。

【file】分詞形容詞

動詞の活用形の一部である現在分詞と過去分詞には、形容詞としての用法がある。その中には完全に形容詞化したものがあり、それを分詞形容詞という。分詞形容詞の用法には注意が必要である。

(1) 名詞を修飾する場合

名詞が「…する / …させる」側であれば現在分詞、名詞が「…される / …させられる」側であれば過去分詞になる。

【例1】an exciting movie

(わくわくさせる映画)

【例2】an excited audience

(わくわくした観客)

(2) SVC の C (補語) になる場合

S が「…する / …させる」側であれば現在分詞、S が「…される / …させられる」側であれば過去分詞になる。

【例1】The movie was exciting for him.

(その映画は彼にとってわくわくさせるものだった)

[例2] He was **excited** by the movie.

(彼はその映画にわくわくした)

(3) SVOCのC(補語)になる場合

Oが「…する/…させる」側であれば現在分詞、
Oが「…される/…させられる」側であれば過去
分詞になる。

[例1] He found *the movie* **exciting**.

(彼はその映画がわくわくさせるものだ
とわかった)

[例2] The movie made *him* **excited**.

(その映画は彼をわくわくさせた)

- ▶ there's nothing like Aは「Aのようなものはない、
Aにまさるものはない」という意味。
- ▶ to. make 以下は「目的」を表す副詞用法の不定詞
句。
- ▷ (ア)の excite は原形ないしは現在形なので、補語には
ならない。よって、不可。
- ▷ (カ)の excitingだと、youが「(誰かを)興奮させる」
側になってしまうので、不可。
- ▷ (キ)の to have excited は完了不定詞だが、feel の補
語として不定詞が用いられることはないので、不可。

2. ★☆☆

Have you ever read this book? I think it's
(**worth reading**) more than once.

「この本を読んだことがありますか。私は何度も読
む価値があると思います」

- (ア) **worth reading** (イ) worth of reading
(ウ) worthy reading (エ) worthy to read

【ポイント】
be worth doing

- be worth *doing*で「…する価値がある」という意
味。したがって、(ア)が正解。
- ▶ この表現では動名詞 *doing* が worth の目的語にな
っている。また、文の主語が *doing* の目的語にあた
るので、本問では主語 it (=this book) が reading
の目的語に相当する。
 - ▷ worthy の後に直接 *doing* が続く形は用いられない
ので、(ウ)は不可。
 - ▷ worthy の後に不定詞が続くことはあり得るが、本
問では to read の意味上の主語が it (=this book)
になってしまうので、(エ)は不可。以下の例は to be
praised の意味上の主語が He なので、正しい。

[例] He is not worthy to be praised.

(彼は賞賛を受けるに値しない)

3. ★★★

Lucy's excitement expressed (**itself**) in singing
and laughter.

「ルーシーの興奮は歌声と笑い声になって現れた」

- (ア) herself (イ) yourself
(ウ) **itself** (エ) oneself

【ポイント】
express itself

- express itself で「(感情が) 外に出る、現れる」と
いう意味になる。したがって、(ウ)が正解。この意味を
知らなくても、主語が Lucy's excitement なので、動
詞 expressed の目的語として itself を用いるのが正し
いと判断できる。
- ▶ 人称代名詞の所有格や目的格に、-self や -selves の
ついたものを再帰代名詞と呼ぶが、これは動詞や前
置詞の目的語として用いられる場合と名詞・代名詞
を強調する場合とがある。

[例] George slipped on a banana skin and hurt
himself. (動作の対象がその人[もの]自身(=

主語)である場合)
(ジョージはバナナの皮を踏んで転び、けがを
した)

Settle the argument between yourselves.
[前置詞の目的語の場合]
(その論争はあなたの方の間で決着をつけな
さい)

The king himself made a speech on the
radio. [名詞を強調する場合]
(国王自身がラジオで演説をした)

- ▶ help *oneself* to A「Aを自由に取って飲み食いす
る」、make *oneself* at home「くつろぐ」、by *oneself*
「自分で」、for *oneself*「独力で」、beside *oneself*「我
を忘れて」などのように再帰代名詞には重要な使い
方がある。なお、このような成句の表現は、辞書の
見出しなどでは *oneself* と表記されるが、主語の人
称や数に合わせ、myself, ourselves, himself, them-
selves などのような形になることにも注意。

4. ★☆☆

Of the two possibilities, the former seems the
more (**likely**).

「2つの可能性のうち、前者の方がより可能性がありそうだ」

- (ア) alike (イ) likely
(ウ) truth (エ) truly

【ポイント】
seem の補語になるものは？

選択肢中で、seem の補語になり、前に more をつけて比較級になる語は形容詞の alike か likely だが、alike は「似ている」という意味なので、文脈上不適切。likely を選べば、「可能性がより高そうだ」となり、意味が成立する。したがって、(イ)が正解。

▶ <the + 比較級 + of the two> で「2つ[2人]のうちでより…な方」という意味。ここでは of the two が Of the two possibilities となって、文頭に出ている。

【例】 Mannie is the stronger of the two boxers.
(2人のボクサーのうちでマニーがより強い方だ)

▷(ウ) the truth は名詞、(エ) the truly は副詞なので、seems の補語にはならない。したがって、不可。

5. ★☆☆

It seems that it'll cost (him another twenty or thirty dollars) to have his watch fixed.

「彼が自分の時計を直してもらうにはもう20ドルか30ドルかかりそうだ」

- (ア) him another twenty or thirty dollars
(イ) him more twenty or thirty dollars
(ウ) twenty or thirty another dollars him
(エ) twenty or thirty more dollars him

【ポイント】
・ it costs O₁ O₂ to do
・ another + 数詞 + 複数名詞

it costs O₁ O₂ to do で「O₁(人)が…するのに O₂(費用)かかる」という意味を表す。ここでは、O₁として him を、O₂として another twenty or thirty dollars 「もう20ドルか30ドル」を配した(ア)が正解。

▶ it costs O₁ O₂ to do は it costs O₂ for O₁ to do とも言える。本問も以下のように書き換えることができる。

→ It seems that it'll cost another twenty or thirty dollars for him to have his watch fixed.

▶ another twenty or thirty dollars は、more を用いて twenty or thirty more dollars とも言える。

▷(イ)は more の位置が不適切なので、不可。

▷(ウ)は another の位置が不適切であることと、him の前に for がいないことから不可。

▷(エ)は him の前に for がいないので不可。

6. ★☆☆

Our enjoyment of the concert was ruined by the young man sitting behind us, (whose) cell-phone went off in the middle of a Mozart concerto.

「私たちはコンサートを楽しんでいたのに、後ろに座っていた若者によって台無しにされた。その男の携帯がモーツァルトのコンチェルトの真っ最中に鳴り出したからだ」

- (ア) that (イ) when
(ウ) which (エ) whose

【ポイント】
関係詞の選択

空所には前半部の節 (S + V) と後半部の節 (S + V) を結ぶ働きのある語で、なおかつ後半部の主語と考えられる cellphone が可算名詞の単数形であることから、冠詞・所有格などの働きを同時にできる語が入ると考えられる。そこで、この2つの要件を満たす所有格の関係代名詞である whose を選択すると、文法的にも情報的にも完全な文ができあがる。したがって、(エ)が正解。

▶ whose の先行詞は the young man.

▷ that を置くと cellphone を限定する指示形容詞になってしまい、接続の働きができないので、(ア)は不可。

▷ when を入れると、cellphone に必要な冠詞あるいは所有格がつかない形になる。よって、(イ)も不可。

▷ which には関係形容詞の用法があるが、その場合、cellphone に相当するものが先行する文中になければならない。したがって、(ウ)も不可。

7. ★☆☆

After shaking hands, they went (in) opposite directions.

「握手をしてから、彼らは反対の方向に行った」

- (ア) for (イ) in
(ウ) on (エ) to

【ポイント】
direction と結びつく前置詞

「(…)の方向に」と言うとき、direction の前に置く前置詞は to ではなく in であることに注意。(イ)が正解。以下の例を参照。

【例】 They walked in the direction of London Bridge.
(彼らはロンドンブリッジの方へ歩いて行った)

▶問題文で複数形 directions が用いられているのは「別々の方向(たとえば、南と北)へ」行ったからである。

▷for には以下の例のように「…へ向かって、…行きの」という意味があるが、for the direction とは言えないので、(ア)は不可。

【例】 We managed to jump onto the last train for Tokyo.
(私たちはどうにか東京方面の終電に飛び乗った)

▷to は到達点を表し、方角には用いないので、(エ)も不可。

8. ★★★

I didn't tell her I loved her. Now I wish I (had).

「私は彼女に愛の告白をしなかった。今では告白しておけばよかったと思っている」

(ア) had (イ) had been
(ウ) were (エ) would be

【ポイント】
・仮定法による願望表現
・省略

前半の文で過去の事実が記され、後半では I wish が使われていることから、過去の事実とは異なる願望が今の時点で記されていることがわかる。過去の事実と異なる願望の内容を述べる節の中では <had+過去分詞> (仮定法過去完了) が用いられるが、願望の内容が文脈から明らかな場合は、過去分詞以下が省略され、had のみで表すことがある。本問でも、Now I wish I had told her so. の told her so が省略された形と考えると文意が通る。したがって、(ア)が正解。

▷had been, were, would be のいずれを選んでも、ここでは文意が成立しない。それぞれの後に told

her so や loved を補うことは不可能だし、存在を表す be であるとも考えることもできない。

B 共通語補充問題

1. ★★★

- a. You should (set) aside some food and drinking water in case of emergencies.
- b. He (set) out for South America.
- c. The salesperson said that those glasses were sold in a (set) of 5.

- a. 「緊急の場合に備えて食料と飲み水を取っておくべきだ」
- b. 「彼は南アメリカに向けて出発した」
- c. 「そのグラスは5個1組で販売していると店員は言った」

【ポイント】
set の様々な意味

- a. set O aside / set aside O で「Oを取っておく、蓄えておく」という意味。
- b. set out for A で「Aに向けて出発する」という意味。ここで用いることになる set は過去形。
- c. a set of X は「X個1組」という意味。

2. ★★★

- a. Mr. Suzuki is in (charge) of this class.
- b. How much do you (charge) for delivery?
- c. You have to (charge) the battery before you use this electric toothbrush.

- a. 「鈴木先生はこのクラスの担任だ」
- b. 「配送料はいくらですか」
- c. 「この電動歯ブラシを使う前にバッテリーを充電する必要がある」

【ポイント】
charge の様々な意味

- a. be in charge of A で「Aを担当している、Aを任されている」という意味。
- b. 「O(代金)を請求する」という意味の charge。
- c. 「O(バッテリー)を充電する」という意味の charge。

4 長文総合問題

【解答】

- 問1 by providing some care for the children
問2 ほとんどの地域は、スペシャリストとして
人が雇用されるのを許可する前に、チャイル
ドライフの資格を要求する。
問3 (エ)
問4 入院する予定の子どもの恐怖を和らげるこ
と。(21字)
問5 (イ)
問6 彼らはまた、子どもが徴候を示している可
能性のある心的ストレスのタイプについて親
に質問し、遊びを通じた治療法により、その
ストレスを軽減できるかどうかを知ろうとす
るだろう。
問7 (ウ)
問8 (エ)

【配点】(60点)

- 問1 6点 問2 10点 問3 5点
問4 10点 問5 5点 問6 12点
問7 6点 問8 6点

【テーマ】

入院している子どもの世話を専門とする保育士
を日本では医療保育士と呼ぶようだが、この医療
保育士は日本では明確に定められた資格ではなく
認知度も低い。しかし、英米では国家資格として
広く認知されており、近年になってようやく日本
でも導入の動きがあるようだ。

【出典】 what-is-a-child-life-specialist: www.wisegEEK.com

【本文解説】

＜第1・2段落＞

1) A child life specialist works in a hospital setting to provide support for children who are hospitalized. 2) As well, the child life specialist contributes to the psychological welfare of siblings of children who are hospitalized, or children of parents with a serious illness. 3) The goal of the child life specialist is to reduce stress for children, and in addition, to reduce stress for parents ⁽¹⁾ [providing / care for / by / the children / some] during the day.

4) A child life specialist usually has a BA degree in the field, or in child development, education, or a similar area. 5) He or she receives further training by conducting an internship at a hospital with a child life department. 6) ⁽²⁾ Most regions require certification in child life prior to allowing the person to be employed as a specialist. 7) A child life specialist must also undergo fingerprinting and background checks before being certified or employed.

1) チャイルドライフスペシャリストは、入院する子どもたちのサポートを提供するために病院という場で仕事をする。 2) さらに、チャイルドライフスペシャリストは、入院する子どもたちの兄弟姉妹や深刻な病気の親をもつ子どもの心の幸せに貢献する。 3) チャイルドライフスペシャリストの目的は、子どもたちのストレスを減らすことであり、さらに、日中、子どもたちの世話をすることで親のストレスを軽減することである。

4) チャイルドライフスペシャリストは、その分野か、児童発達、教育、あるいはそれに類する分野の教養学士の資格をたいてい持っている。 5) 彼らは、チャイルドライフ部門のある病院で研修を行うことで、さらなる訓練を受ける。 6) ほとんどの地域は、スペシャリストとして人が雇用されるのを許可する前に、チャイルドライフの資格を要求する。 7) チャイルドライフスペシャリストは、また、資格を得るか雇用される前に指紋を取られ、経歴のチェックを受けなければならない。

2) ・ or は siblings of children who are hospitalized と children of parents with a serious illness をつないでいる。

3) ・ 下線部(1)については、【設問別解説】参照。

6) ・ 下線部(2)については、【設問別解説】参照。

- setting 「設定、場」
- provide O for A 「O を A に供給する、提供する」
- be hospitalized 「入院する」
- as well 「その上」

- contribute to A「Aに貢献する」
- psychological「心理的な」
- welfare「福祉, 幸福」
- reduce O「Oを減らす」
- in addition「さらに」
- during the day「日中」
- development「発達, 成長」
- receive O「Oを受ける」
- conduct O「Oを行う」
- internship「研修」
- department「部門」
- region「地域」
- require O「Oを必要とする」
- employ O「Oを雇う」
- undergo O「Oを受ける」
- fingerprinting「指紋を取る
こと」
- background「背景, 経歴」
- certify O「Oに資格を与える」

＜第3段落＞

8) (3) 9) Some rely instead on social workers (and sometimes chaplains, or freelance counselors) to work with a child. 10) In general, however, most major hospitals and all pediatric hospitals will have a department of child life specialists.

8) どの病院もそのような部門を擁しているわけではない。 9) 病院の中には、その代わりに、ソーシャルワーカー（時に施設で活動する牧師やフリーランスのカウンセラー）に子どもの世話を頼っているものもある。 10) しかしながら、一般的には、ほとんどの主要な病院や全ての小児科の病院には、チャイルドライフスペシャリストの部門があるだろう。

8) 空所(3)については、【設問別解説】参照。

9) ・SomeはSome hospitalsのこと。

・rely on A to do で「Aが…してくれるのを頼りにする」という意味で本文は rely と on の間に instead が挿入されている。

- instead「その代わりに」
- in general「一般に」

＜第4段落＞

11) One of the duties of the child life specialist is conducting ⁽⁴⁾ informational tours for children who are going to be hospitalized. 12) If this option is not suggested when one's child is going to be hospitalized, it is prudent to ask for it. 13) These tours are generally conducted a few weeks before a planned hospitalization and are usually free. 14) Touring the hospital can often help ease a child's fears.

11) チャイルドライフスペシャリストの仕事の1つは、入院する予定の子どものために病院を知るための見学の案内役をすることだ。 12) もし、入院予定の子どものいるのに、この選択肢が提示されなかったら、それを求めることが賢明である。 13) これらの見学は一般的には入院が予定される数週間前に行われ、ふつうは無料である。 14) 病院見学は、しばしば子どもの恐怖感を和らげる助けとなりうる。

11) ・One が主語、is が動詞、conducting が補語。

・下線部(4)については、【設問別解説】参照。

12) ・it is prudent の it は、to ask for it を指す形式主語。

- duty「義務, 仕事」
- prudent「賢明な」
- ask for A「Aを求める」

13) ・ are usually free の主語は These tours.

14) ・ help ease a child's fears は、help do ... 「…するのを助ける」を使った表現。

- generally 「一般に」
- ease O 「Oを和らげる」
- fear 「恐れ」

〈第5段落〉

15) The child life specialist may also oversee playrooms for hospitalized children and their siblings. 16) Provided the siblings or children of hospitalized parents don't have colds, fevers, or recent exposure to chickenpox, they can usually play in the playroom during any hours it is open. 17) In this way, the child life specialist can engage the child in both recreational and therapeutic play to help ease anxieties. 18) (5) toys specifically geared toward the hospitalized child, playrooms also have many regular toys and games, which can make hospital stays less boring, and help children focus on something other than being ill, or having ill family members.

15) また、チャイルドライフスペシャリストは入院している子どもやその兄弟姉妹が遊ぶ部屋を監視することもある。 16) もし、兄弟姉妹や入院している親の子どもが風邪や発熱の症状がなく、最近水ぼうそうの患者に接触したこともないなら、ふつうは遊び部屋が開いている時間はその部屋で遊ぶことができる。 17) このように、チャイルドライフスペシャリストは、気晴らしを目的として子どもを遊ばせたり、また治療を目的として遊ばせたりして不安を和らげる助けをすることがある。 18) 遊び部屋にはまた、入院している子ども用に特別に作られたおもちゃだけでなく、たくさんの普通のおもちゃやゲームがあり、それらは入院期間をより退屈でないものにすることができし、自分が病気になっていることや病気の家族がいること以外のはかのことに子どもが意識を向ける助けとなる。

16) ・ it is open は any hours を修飾する関係詞節。

17) ・ to help ease anxieties は目的を表す副詞用法の不定詞句で、help do 「…するのを助ける」の表現が使われている。

18) ・ 空所(5)については、【設問別解説】参照。

・ specifically geared toward ... は toys を修飾する分詞句。

・ which ... は (playrooms also have) many regular toys and games を先行詞とする非制限用法の関係詞節。

・ make hospital stays less boring は make O C 「OをCにする」を使った表現で、Oにあたるのが hospital stays であり、Cにあたるのが less boring である。

- oversee O 「Oを監督する、監視する」
- provided S V ... 「…だとすると」
- fever 「発熱」
- exposure to A 「Aにさらされること」
- in this way 「このようにして」
- engage O in A 「OをAに関わらせる」
- recreational 「気晴らしの」
- therapeutic 「治療上の」
- anxiety 「不安」
- specifically 「特に、とりわけ」
- geared toward A 「A向けである」
- boring 「退屈な」
- focus on A 「Aに専念する、意識を向ける」
- other than A 「A以外の」

〈第6段落〉

19) If a child is too ill to go to the playroom, a child life specialist can come to the child's hospital room and use play therapy, or simply play with the child to help them remain mentally healthy during a hospital stay. 20) They usu-

19) 子どもが病気がひどくて遊び部屋へ行くことができないとき、チャイルドライフスペシャリストはその子どもの病室へ行行って、遊びによる治療法を用いたり、単に子どもと遊んで入院期間中精神的に健康でいられるように手助けをすることもある。

<p>ally also have books or DVDs on hand if the child wants to learn more about his or her condition, and they have a variety of age-appropriate toys for each child. 21) <u>They will also question the parents on the types of stress the child may be exhibiting, to see if they can reduce that stress through play therapy.</u></p>	<p>20) また、子どもが自分の病状についてもっと知りたいなら、ふつう本やDVDを持っていくし、それぞれの子どもに対して、年齢に合った様々なおもちゃを用意している。 21) 彼らはまた、子どもが徴候を示している可能性のある心的ストレスのタイプについて親に質問し、遊びを通した治療法により、そのストレスを軽減できるかどうかを知らうとするだろう。</p>
<p>19) ・ too ill to go は too ... to do 「…すぎて～できない」を使った表現。 ・ and は come to the child's hospital room と use play therapy ... をつないでいる。 ・ remain mentally healthy は remain C 「C のままている」を使った表現で、healthy が C にあたる。 21) ・ 下線部(6)については、【設問別解説】参照。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● mentally 「精神的に」 ● have O on hand 「O を用意して」 ● a variety of A 「様々な A」 ● age-appropriate 「年齢に合った」 ● exhibit O 「O を示す」
<p>＜第 7 段落＞ 22) For example, a child life specialist might find a child with a severe fear of blood tests and shots. 23) In this case, the child life specialist might bring a tub of warm soapy water to the room, with oral syringes that can be filled and refilled, so the syringe gradually becomes a less feared object.</p>	<p>22) 例えば、チャイルドライフスペシャリストが血液検査や注射をひどく恐れる子どもがいることに気づくかもしれない。 23) この場合、チャイルドライフスペシャリストは、温かい石けん水の入った桶と中身の詰め替えが何度でもできる経口注射器を部屋へ持っていき、注射器がしだいに怖くないものになっていくようにすることもある。</p>
<p>23) ・ that can be filled and refilled は oral syringes を先行詞とする関係詞節。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● severe 「厳しい、ひどい」 ● blood test 「血液検査」 ● shot 「注射」 ● tub 「桶」 ● soapy 「石けんの」 ● fill O 「O をいっぱいにする」 ● object 「物」
<p>＜第 8 段落＞ 24) Most child life specialists work for the opportunity of performing valuable and rewarding (although sometimes difficult) work. 25) In most cases, monetary rewards are not considerable. 26) Many specialists, however, find that <u>the rewarding aspects of the work far outweigh the compensation.</u></p>	<p>24) ほとんどのチャイルドライフスペシャリストは、価値があり、やりがいのある（ときに困難ではあるが）仕事を遂行する機会のために働く。 25) ほとんどの場合、金銭的な報酬はたいしたものではない。 26) しかし、仕事から得られるやりがいは、報酬面をはるかに上回っているスペシャリストが多い。</p>
<p>26) ・ 下線部(7)については、【設問別解説】参照。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● opportunity 「機会」 ● perform O 「O を遂行する」 ● valuable 「価値がある」 ● rewarding 「やりがいのある」 ● monetary 「お金の」 ● reward 「報酬」

- considerable 「かなりの、たいした」
- aspect 「面」
- outweigh O 「Oに勝る」
- compensation 「代償、報酬」

【設問別解説】

問1 語句整序問題 ★☆☆

下線部(1)[providing / care for / by / the children / some]の[]内の語句を正しく並び換えよ。

【ポイント】

provide O for A

与えられた語句に providing があることに着目し、provide O for A 「AにOを供給する」という表現の-ing形を作ることを考える。Oにはcare、Aにはthe childrenを置くことになるが、someはcareと結びついてsome careとなると考えられる。したがって、providing some care for the children「子どもに世話を与える」→「子どもの世話をする」とする。残ったbyは、providing以下を動名詞句と考えて、by providing some care for the childrenとすれば、文法的に正しい語順になる。この語順にすることで、第3)文全体の意味は「チャイルドライフスペシャリストの目的は、子どもたちのストレスを減らすことであり、さらに、日中、子どもたちの世話をすることで親のストレスを軽減することである」となり、文意も通る。

問2 下線部和訳問題 ★☆☆

下線部(2)を和訳せよ。

Most regions require certification in child life prior to allowing the person to be employed as a specialist.

【ポイント】

- ・ prior to A
- ・ allow O to do

訳出のポイントは以下の通り。

- ・ Most regions が主語、require が動詞、certification in child life が目的語であることから、「ほとんどの地域はチャイルドライフの資格を要求する」となる。
- ・ prior to A は「Aの前に」という意味であり、Aに

あたる部分が、allowing the person to be employed as a specialist である。

- ・ be employed as a specialist は、employ O as A 「OをAとして雇用する」の受動態を用いた形で「スペシャリストとして雇用される」となる。
 - ・ allow O to do は「Oが…するのを許可する、Oに…させる」という意味で、allowing the person to be employed as a specialist は「スペシャリストとして人が雇用されるのを許可する(こと)、スペシャリストとして雇用される(こと)」となる。
- 以上から、「ほとんどの地域は、スペシャリストとして人が雇用されるのを許可する前に、チャイルドライフの資格を要求する」と訳出できる。
- ▶ 「人が雇用されるのを許可される前に、チャイルドライフの資格を要求する」というのは、「雇用が許可されるには、チャイルドライフの資格が必要だ」ということなので、「ほとんどの地域では、スペシャリストとして雇用されるには、チャイルドライフの資格が必要となる」のように訳出することも可。

問3 空所補充選択問題 ★☆☆

空所(3)に入れるべき英文を、次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) Every hospital is obliged to have such departments.
- (イ) Such departments are scarce in prominent hospitals.
- (ウ) Not a single hospital has such departments.
- (エ) Not all hospitals have such departments.
- (ア) 全ての病院はそのような部門を持つことが義務づけられている。
- (イ) そのような部門は有名な病院ではめずらしい。
- (ウ) そのような部門がある病院はひとつとしてない。
- (エ) 全ての病院にそのような部門があるわけではない。

【ポイント】
空所のある段落の要旨は？

・空所に続く第9)文の趣旨は「病院の中にはチャイルドライフスペシャリストではなくソーシャルワーカーに子どもの世話を頼るものもある」となっており、さらに第10)文の趣旨は「しかし、一般的には、ほとんどの主要な病院にはチャイルドライフスペシャリストの部門がある」である。つまり、チャイルドライフスペシャリストの部門はどの病院にもあるわけではないが、主要な病院にはあると書かれているので、この内容に矛盾しないものを選択することになる。(イ)は not all を用いた部分否定の文で「全ての病院にそのような部門があるわけではない」の意味である。したがって、これがこの段落の内容をまとめたトピックセンテンス (topic sentence) として妥当なものと判断できる。

▶段落などの要旨を提示する文をトピックセンテンスと言う。段落のトピックセンテンスは、その段落の第1文に置かれることが多い。本問はトピックセンテンスを選択する問題である。

問4 内容説明問題 ★★☆☆

下線部(4) informational tours は、誰にとつてどのような助けになると述べているか。句読点を含めて、20字程度の日本語で説明せよ。

【ポイント】
informational tours の目的は？

・下線部の直後に for children who are going to be hospitalized 「入院する予定の子どものために」とあり、第14)文に Touring the hospital can often help ease a child's fears. 「病院見学は、しばしば子どもの恐怖感を和らげる助けとなりうる」とあることから、「入院する予定の子どもの恐怖を和らげる。」のようにまとめればよい。

▶第12)文は病院見学の有効性を強調した文であり、第13)文は病院見学がいつ行われるかについて述べた文である。この2つの文の内容は設問文では要求されていないので、この部分を解答に含めないように注意する必要がある。

問5 空所補充選択問題 ★★☆☆

空所(5)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| (ア) In contrast to | (イ) As well as |
| (ウ) Instead of | (エ) As compared with |
| (ア) …とは対照的に | (イ) …だけでなく |
| (ウ) …のかわりに | (エ) …と比べると |

【ポイント】
also に注目！

第18)文の主節は、playrooms also have many regular toys and games …「遊び部屋にはまた…たくさん普通のおもちゃやゲームがある」となっている。この also は、直前の toys specifically geared toward the hospitalized child 「入院している子ども用に特別に作られたおもちゃ」に対して使われていて、「入院者用の特別なおもちゃも、また普通のおもちゃもある」ということを言っていると考えられる。そこで、As well as 「…だけでなく」を空所に入れると、「入院している子ども用に特別に作られたおもちゃだけでなく、遊び部屋にはまた、たくさん普通のおもちゃやゲームがある」となり文意が通る。したがって、(イ)が正解。

問6 下線部和訳問題 ★★☆☆

下線部(6)を和訳せよ。

They will also question the parents on the types of stress the child may be exhibiting, to see if they can reduce that stress through play therapy.

【ポイント】
・関係詞の省略
・名詞節を導く if

訳出のポイントは以下の通り。

- ・They will also question the parents の部分は、They が主語、question が動詞、the parents が目的語で「彼ら (=チャイルドライフスペシャリスト) はまた、親に質問をするだろう」となる。
- ・on the types of stress the child may be exhibiting は、the child may be exhibiting が stress を先行詞とする関係詞節で、「子どもが(徴候を)示しているかもしれない(心的)ストレスのタイプについて」となる。on は、ここでは「…について、関して」の意味であることに注意。
- ・to see if they can reduce that stress through play therapy は、to see が目的を表す不定詞の副詞用法

で, see if ... が「…かどうかをよく見る, 調べる」の意味。したがって, この部分は「遊びを通した治療法により, そのストレスを軽減できるかどうか見するために」となる。

以上より, 「彼らはまた, 遊びを通した治療法により, そのストレスを軽減できるかどうか見るために, 子どもが徴候を示している可能性のある心的ストレスのタイプについて親に質問することもあるだろう」となる。それをさらに日本語として読みやすくすれば, 「彼らはまた, 子どもが徴候を示している可能性のある心的ストレスのタイプについて親に質問し, 遊びを通した治療法により, そのストレスを軽減できるかどうかを知ろうとするだろう」となる。

問7 下線部意味選択問題 ★★★

下線部(7) the rewarding aspects of the work far outweigh the compensation の表す意味として最も適当なものを, 次の(ア)~(エ)の中から1つ選び, 記号で答えよ。

- (ア) 自分たちが報酬を得ると, 患者に非常に負担がかかる。
- (イ) 十分な給料をもらえるので, 犠牲はいとわな。
- (ウ) 仕事から得られるやりがいは, 報酬面をはるかに上回る。
- (エ) 仕事の負担を考えると, 今の給料は正当な対価とはとうてい言えない。

【ポイント】 動詞の outweigh

- ・ the rewarding aspects が主語, outweigh が動詞, the compensation が目的語で, outweigh は「…に勝る」という意味の他動詞。far は「はるかに」という意味の副詞。したがって, 下線部の意味は「仕事のやりがいのある側面はその報酬にはるかに勝る」となり, その意味を正しく反映している(ウ)が正解。
- ▶ 下線部の意味がわからなくても, 下線部のある第26)文に, however という逆接, 対比の表現があり, 直前の第25)文の内容が, 「ほとんどの場合, 金銭的な報酬はたいしたものではない」であることから, (ウ)を選ぶことができる。

問8 内容一致選択問題 ★★☆☆

次の(ア)~(エ)のうち, 本文の内容と一致するものを1つ選び, 記号で答えよ。

(ア) Those who want to receive the services of child life specialists are required to have their fingerprints taken.

(イ) Touring a hospital before hospitalization is recommended, but when that option is not available, it seems rude to request a tour.

(ウ) If they are not sick, brothers and sisters of hospitalized children can play at hospital playrooms around the clock.

(エ) Child life specialists do their best to stop children feeling frightened of medical instruments by treating them as toys.

(ア) チャイルドライフスペシャリストのサービスを受けたい者は, 指紋を取るよう求められる。

(イ) 入院前の病院見学が推奨されるが, その選択ができないときは, それを求めることは失礼と思われる。

(ウ) 病気でなければ, 入院している子どもの兄弟姉妹は24時間病院の遊び部屋で遊ぶことができる。

(エ) チャイルドライフスペシャリストは, 医療器具を玩具として扱うことで, 子どもができるだけ怖がらないようにしようとする。

【ポイント】 チャイルドライフスペシャリストの仕事は?

- ・ 第22)・23)文の内容は「血液検査や注射を恐れる子どもがいる場合, チャイルドライフスペシャリストは, 石けん水が入った桶を病室に持って行って経口注射器で遊ぶことで, 子どもの注射器に対する恐怖を和らげる」ということであり, チャイルドライフスペシャリストの仕事の1つは子どもが病院の医療器具を恐れないようにすることであるとわかるので, (エ)が正解。

▶ 第7)文に「チャイルドライフスペシャリストは, また, 資格を得るか雇用される前に指紋を取られ, 経歴のチェックを受けなければならない」とあるが, チャイルドライフスペシャリストのサービスを受けたい者が指紋を取られるわけではないので, (ア)は不可。

▶ 第12)文の「入院予定の子どもがいるのに, この選択肢(=病院見学)が提示されなかったら, それを求めることが賢明である」という記述に反するので, (イ)は不可。

▶ 第16)文に「兄弟姉妹や入院している親の子どもが

風邪や発熱の症状がなく、最近水ぼうそうの患者に接触したこともないなら、ふつうは遊び部屋が開い

ている時間はその部屋で遊ぶことができる」とあり、24時間遊べるわけではないので、㉦は不可。

⑤ 長文総合問題

【解答】

問1 ㉦

問2 平均的な人間の子どもは、九九の表のような単純なものを記憶するのに数週間あるいは数か月から数年もかかる一方で、現代のコンピュータならどんなものでも、どのような表も瞬時に記憶し、しかも決してそれを忘れないのである。

問3 私たちが探しているものを暗示するきっかけや手がかりを使って、情報を取り出すという方法。(43字)

問4 たまたま座っている時に覚えた単語は、後になって真っ直ぐ立っている時よりも座っている時のほうが思い出しやすいということ。(59字)

問5 ㉤

問6 ㉢

問7 しかし私たちの問題は、どれだけ情報を私たちの記憶の中に蓄えておけるかということでは決してなかった。問題はつねにその情報を取り出すことにあり、まさにその点においてコンピュータメモリから手がかりを得ることが役立ちうるのである。

【配点】(60点)

問1 5点 問2 15点 問3 8点

問4 10点 問5 5点 問6 5点

問7 12点

【テーマ】

ウィリアム・ギブスンの『ニューロマンサー』をはじめ、人間の脳や神経にコンピュータチップを埋め込むという発想はSFの世界では定番といえる。しかし、そんなことが現実になるとしたらどうだろうか。人間はその本質を失い、ただのロボットのようにになってしまうのだろうか。筆者はそのようなことはありえないと否定している。

【出典】www.nytimes.com

【本文解説】

＜第1段落＞

1) How much would you pay to have a small memory chip implanted in your brain if that chip would double the capacity of your short-term memory? 2) Or guarantee that you would never again forget a face or a name?

1) 小さなメモリチップを脳に埋め込んでもらって、もしもそのチップが短期記憶の容量を2倍にしてくれるとしたら、あなたはいくら支払うだろうか。 2) あるいは人の顔や名前をもう二度と忘れないと保証してくれるとしたら。

- 1) ・ have a small memory chip implanted in your brain は、have O done 「Oを…してもらう」を用いた形。
・ short-term memory 「短期記憶」とは、その場で一時的に保持され、時間が経つと忘れられてしまう記憶のこと。一般には30秒程度しか持続しないとされている。
- 2) ・ Or は第1)文の double と guarantee を結んでいる。つまり、Or (how much would you pay to have a small memory chip implanted in your brain if that chip would) guarantee that you would never again forget a face or a name? ということ。

- pay O 「Oを支払う」
- memory chip 「メモリチップ」
- implant O 「Oを埋め込む」
- double O 「Oを2倍にする」
- capacity 「能力、容量」
- guarantee that ... 「…ということを保証する」

＜第2段落＞

3) There would be good reason to consider such offers. 4) Although our memories are sometimes spectacular — we are very good at recognizing photos, for example — our memory capacities are often (1). 5) Faulty memories have been known to lead to erroneous eyewitness testimony (and false imprisonment), to marital friction (in the form of overlooked anniversaries) and even death (sky divers have been known to forget to pull their ripcords — accounting, by one estimate, for approximately 6 percent of sky-diving fatalities).

3) このようなオファーを前向きに検討する十分な理由があるだろう。 4) 私たちの記憶は時には目を見張るほどのものだ — 例えば私たちは写真を認識することにすばらしく長けている — が、私たちの記憶容量にはしばしばがっかりさせられる。 5) 誤った記憶が間違った目撃証言（そして冤罪による投獄）、夫婦間の不和（うっかり記念日を忘れるといった形で）、さらには死（スカイダイバーがパラシュートを開く紐を引き忘れることは知られており、ある推計によれば、それがスカイダイビング中の死亡原因のおよそ6パーセントを占めている）につながることは知られている。

- 3) ・ such offers「このようなオファー」とは、第1段落で述べられた、メモリチップを脳に埋め込んではどうかというようなオファーのこと。
- 4) ・ 空所(1)については、【設問別解説】参照。
- 5) ・ Faulty memories have been known to lead ... は、be known to do「…するものと知られている」の表現が使われている。
- ・ lead to Aで「Aにつながる」の意味。ここではAにあたるのが erroneous eyewitness testimony, marital friction, deathの3つで、deathの前にはtoが省略されている。
- ・ in the form of Aで「Aの形で」の意味。ここでは「夫婦間の不和」の1つの例として、記念日（結婚記念日など）を忘れてしまうことによるものがある、ということ述べている。
- ・ accounting, by one estimate, for approximately 6 percent of sky-diving fatalities は、account for A「A(の割合)を占める」を用いた形に、by one estimate「ある推計によれば」が入り込んだもの。

- spectacular「目を見張るような」
- faulty「欠陥のある、誤った」
- erroneous「誤った、間違った」
- false「誤った、間違った」
- imprisonment「投獄」
- overlooked「見落とされた」
- anniversary「記念日」
- ripcord「リップコード、パラシュートを開く紐」
- estimate「推計」
- approximately「約、およそ」
- fatality「死亡者数」

＜第3段落＞

6) All this becomes even more poignant when you compare our memories to those of the average laptop. 7) Whereas it takes the average human child weeks or even months or years to memorize something as simple as a multiplication table, any modern computer can memorize any table in an instant — and never forget it. 8) Why can't we do the same?

6) 私たちの記憶を平均的なノートパソコンのメモリと比較してみると、これらすべてのことはさらに痛切なものに感じられる。 7) 平均的な人間の子どもは、九九の表のような単純なものを記憶するのに数週間あるいは数か月から数年もかかる一方で、現代のコンピュータならどんなものでも、どのような表も瞬時に記憶し、しかも決してそれを忘れないのである。 8) なぜ私たちには同じことができないのだろうか。

- 6) ・ compare our memories to those of the average laptop は compare O to A「OをAと比較する」を用いた形。those は the memoriesのこと。
- ・ laptop は laptop computer の省略語で、本来は「ひざの上に乗せられるような小型のコンピュータ」のこと。
- 7) ・ 下線部(2)については【設問別解説】参照。

- average「平均的な」
- whereas「…に対して」
- multiplication table「掛け算表、九九の表」
- in an instant「瞬時に」

〈第4段落〉

9) Much of the difference lies in the basic organization of memory. 10) Computers organize everything they store according to physical or logical locations, with each piece of information stored in a specific place according to some sort of master map, but we have no idea where anything in our brains is stored. 11) We retrieve information not by knowing where it is but by using cues or clues that hint at what we are looking for.

9) その違いの多くは、記憶の基本的なしくみにある。 10) コンピュータはそれが蓄積するものすべてを、物理的または論理的場所に応じ、個々の情報がある種のマスターマップに基づいて特定の場所に保存された状態で配列するが、私たちは脳の中のあるあらゆるものがどこに保存されているかわからないのである。 11) 私たちは情報がどこにあるかわかっていることによってではなく、私たちが探しているものを暗示するきっかけや手がかりを使うことによって、情報を取り出しているのだ。

10) ・they storeはeverythingを修飾する関係詞節。

- ・with each piece of information stored in a specific placeはwith A done「Aが…された状態で」の形。
- ・〈have no idea+疑問詞+S V〉で「…かわからない」の意味。

11) ・not by knowing where it is but by using cues or clues ...はnot X but Y「XではなくY」を用いた形。ここではX, Yの位置にby doing「…することによって」が置かれている。

- ・that hint at what we are looking forはcues or cluesを修飾する関係詞節。

- lie in A「(理由・関心などが)Aにある」
- organization「組織、構成」
- organize O「Oを組織する、配列する」
- store O「Oを蓄える、保存する」
- physical「物理的な」
- logical「論理的な」
- location「位置、場所」
- specific「特定の」
- sort「種類」
- retrieve O「Oを取り戻す」
- cue「きっかけ」
- clue「手がかり」
- hint at A「Aを暗示する、それとなく言う」

〈第5段落〉

12) In the best-case situation, this process works well: the particular memory we need just "pops" into our minds, automatically and effortlessly. 13) The catch, however, is that our memories can easily get confused, especially when a given set of cues points to more than one memory. 14) What we remember at any given moment depends heavily on which bits of mental flotsam and jetsam happen to be active at that instant. 15) Our mood, our environment, even our posture can all influence our memories. 16) To take but one example, studies suggest that if you learn a word while you happen to be seated, you'll be better able to remember that word at a later time if you are seated than if you happen to be standing upright.

12) 最もよい状況であれば、この方法はうまくいく。私たちの必要とする特定の記憶が、無意識のうちに楽々と、まさに頭の中に「飛び出してくる」のである。 13) しかし問題は、私たちの記憶が混乱しやすいことだ。特定の連続の手がかりが2つ以上の記憶を指し示してしまう時には特にそうである。 14) ある特定の瞬間に私たちが思い出すことは、頭の中の浮遊物のどの断片がその瞬間にたまたま活性化していたかということに大きく左右される。 15) 私たちの気分、周囲の状況、さらには姿勢さえもがすべて私たちの記憶に影響を与えうる。 16) 1つだけ例を挙げるなら、たまたま座っている時にある単語を覚えると、後になって、たまたま真っ直立っている時よりも座っている時の方がその単語を上手く思い出せることを研究が示唆している。

12) ・下線部(3)については【設問別解説】参照。

- best-case「最もよい、最高の条

- ・ we need は the particular memory を修飾する関係詞節。
- 13) ・ The catch is that ... で「問題は…ということだ」の意味。
- ・ especially when ... で「…する時には特に」の意味。
- ・ a given set of cues は、a set of A「一連の A」に、「与えられた、特定の」の意味の形容詞 given を組み合わせた形。
- ・ more than one ... で「複数の…、2つ以上の…」の意味。
- 14) ・ at any given moment で「ある特定の瞬間に」の意味。
- ・ which bits of mental flotsam and jetsam happen to be active at that instant は前置詞 on の目的語となる名詞節で、which は「どの…」の意味の疑問形容詞。at that instant で「その瞬間に」の意味。
- 15) ・ 下線部(4)については【設問別解説】参照。
- 16) ・ To take but one example は to take one example「1つ例を挙げれば」を用いた表現。but は「ほんの、ただ」の意味の副詞。
- ・ ここでの better は副詞 well の比較級で、able を修飾している。

件の」

- pop into A「Aの中に飛び出す」
- mind「精神、頭」
- automatically「自動的に、無意識的に」
- effortlessly「楽々と」
- confuse O「Oを混乱させる」
- point to A「Aを指し示す」
- bit「断片、かけら」
- active「活動的な」
- at a later time「後になって」
- upright「直立した」

＜第6段落＞

17) If we dared, could we use the resources of modern science to improve human memory? 18) Quite possibly, yes. 19) A team of Toronto researchers, for example, has shown how a technique known as deep-brain stimulation can make small but measurable improvements by using electrical stimulation to drive the cue-driven circuits we already have.

17) その気があれば、現代科学によって得られる手段を利用して人間の記憶を向上させられるのだろうか。18) 答えはイエスである可能性が十分ある。19) 例えばトロントの研究者チームは、脳深部刺激法として知られる技術が、私たちがすでに持っている、きっかけによって駆動される思考回路を働かせるのに電氣的刺激を用いることで、わずかだけれども計測可能な向上をさせることができるさまを明らかにしている。

- 17) ・ dared は dare (to) do「あえて…する」を仮定法過去で用いた形。直後に (to) use ... が省略されていると考えてよい。
- 19) ・ known as deep-brain stimulation は a technique を修飾する過去分詞句。
- ・ make (...) improvements で「改善する、向上させる」の意味。
- ・ small but measurable が improvements を修飾している。measurable improvements「計測可能な向上」とは、数値で表すことができるほどの記憶の向上のこと。
- ・ the cue-driven circuits を we already have が修飾している。the cue-driven circuits とは、きっかけを与えられることによって記憶を取り戻すという人間の脳の仕組みのこと。

- resource「資源、手段」
- improve O「Oを向上させる」
- quite「かなり、なかなか」
- Toronto「トロント(カナダの都市)」
- stimulation「刺激」
- measurable「計測可能な」
- electrical「電氣的な」
- drive O「Oを駆動する」
- circuit「回路」

＜第7段落＞

20) But ⁽⁵⁾ techniques like that can only take us so far. 21) They can make memories more accessible but not necessarily more reliable, and the improvements are most likely to be modest. 22) Making our memories both more accessible and more reliable would require something else, perhaps a system modeled on Google, which

20) しかし、このような技術では、その程度のことしかできないのだ。21) それらは記憶をより取り出しやすくすることはあっても、その信頼性を高めるわけでは必ずしもなさそうであり、向上はわずかなものである可能性が非常に高い。22) 私たちの記憶をより取り出しやすく、しかもより信頼できるものにするためには他の何かが必要であり、それ

combines cue-driven promptings similar to human memory with the location-addressability of computers.	はひょっとしたら、人間の記憶に似たきっかけによる刺激を用いる方法を、場所を特定して情報を得ることができるというコンピュータの能力と組み合わせたグーグルをモデルにしたシステムなのかもしれない。
---	---

20) ・下線部(5)については、【設問別解説】参照。

21) ・can make memories more accessible but not necessarily more reliable は make O C「O を C にする」を用いた形。memories が O, more accessible と more reliable が C にあたる。not necessarily は「必ずしも…でない」の意味の部分否定。

・the improvements are most likely to be modest は be likely to do「…する可能性が高い」を用いた形。

22) ・Making our memories both more accessible and more reliable が、この文の主語となる動名詞句。この部分に make O C と both A and B「A と B の両方」が用いられている。

・something else と a system modeled on Google は同格で、後者が前者を説明的に補足している。modeled on Google は a system を修飾する過去分詞句。model O on A で「A に倣って O を作る」の意味。

・which は非制限用法で用いられた関係代名詞であり、which 以下は Google がどのようなものかを補足的に説明している。

・similar to human memory は cue-driven promptings を修飾する形容詞句。

・location-addressability とは、コンピュータは人間と違い、すべての情報がどこにあるかを記憶しているので、直接その場所を指定することで情報を取り出せるということ。

- accessible「(容易に) 接近できる, 入手可能な」
- reliable「信頼のおける」
- modest「控えめな, わずかな」
- require O「O を必要とする, 要求する」
- Google「グーグル (インターネットの検索エンジン)」
- combine O with A「O を A と結合させる, 組み合わせる」
- prompting「促進, 刺激」

＜第 8 段落＞

23) However difficult the practicalities, there's no reason in principle why a future generation of neural prostheticists couldn't pick up where nature left off, incorporating Google-like master maps into neural implants. 24) This in turn would allow us to search our own memories — not just those on the Web — with something like the efficiency and reliability of a computer search engine.	23) どれほど実現が難しくても、グーグルに似たマスターマップを神経へのインプラントに組み込むことで、自然がやめてしまったところからの続きを未来世代の神経補綴医が始めることができない理由は原則的にはない。 24) このことによって今度のは、コンピュータの検索エンジンの持つ効率と信頼性のようなものをもって、インターネット上のメモリだけでなく、私たち自身の記憶も検索することができるようになるだろう。
--	---

23) ・However difficult the practicalities は the practicalities are difficult を元にした形。直後に be 動詞が省略されていると考えてよい。〈however + 形容詞／副詞 + S V〉で「どれほど…だろうと」の意味。

・there's no reason why ... で「…する理由はない」の意味。

・neural prostheticists は、第 1 段落で述べられたようなメモリチップを脳に埋め込むことが可能であると想定して、そのような手術をする医師のこと。

・pick up は「(途切れた時点から) 再開する」の意味。leave off は

- practicality「実際のなこと, 実用性」
- in principle「原則的には」
- generation「世代」
- neural「神経の」
- incorporate O into A「O を A に組み込む」
- in turn「今度は」
- search O「O を検索する」

「(途中で) やめる」の意味。ここで pick up where nature left off とは、自然の中で進化してきた人間が現状で持っていない能力を人工的に持たせることを表している。

- efficiency 「効率」
- reliability 「信頼性」

24) ・ those は the memories のこと。

・ search engine 「検索エンジン」とは、グーグルやヤフーのような、インターネット上の情報を検索するためのサイトのこと。

＜第9段落＞

25) Would this turn us into computers? 26)
(6) 27) A neural implant equipped with a master memory map wouldn't impair our capacity to think, or to feel, to love or to laugh; it wouldn't change the nature of what we chose to remember; and it wouldn't necessarily even expand the sheer size of our memory banks. 28)
(7) But our problem has never been how much information we could store in our memories; it's always been in getting that information back out — which is precisely where taking a clue from computer memory could help.

25) このことは私たちがコンピュータに変えてしまおうのだろうか。 26) まったくそんなことはない。 27) マスターメモリマップを備えた神経インプラントは、考えたり、感じたり、愛したり、笑ったりする私たちの能力を減衰させることはないだろう。私たちが何を選択的に記憶するかという本質を変えることはないだろう。そして、私たちのメモリバンクの正味の大きさを拡大することさえも必ず起こるとは限らないのだ。 28) しかし私たちの問題は、どれだけの情報を私たちの記憶の中に蓄えておけるかということでは決してなかった。問題はつねにその情報を取り出すことにあり、まさにその点においてコンピュータメモリから手がかりを得ることが役立つのである。

26) ・ 空所(6)については【設問別解説】参照。

27) ・ equipped with a master memory map は A neural implant を修飾する過去分詞句。

・ our capacity to think, or to feel, to love or to laugh は capacity to do 「…する能力」を用いた形。

28) ・ 下線部(7)については【設問別解説】参照。

- turn O into A 「OをAに変える」
- equip O with A 「OにAを備え付ける」
- impair O 「Oを減衰させる」
- nature 「本質」
- expand O 「Oを拡大する」
- sheer 「まったくの、正味の」
- memory bank 「メモリバンク、記憶装置」

【設問別解説】

問1 空所補充選択問題 ★☆☆

空所(1)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)～(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) amazing
- (イ) misleading
- (ウ) **disappointing**
- (エ) pleasing
- (ア) 驚くべき
- (イ) 誤解を招く
- (ウ) **がっかりする**

(エ) 喜ばしい

【ポイント】
「私たちの記憶力」はどのようなものか？

空所を含む第4)文は、「私たちの記憶は時には目を見張るほどのものだ…が、私たちの記憶容量にはしばしば (1)」の意味。文の前半では、例を挙げながら私たちの記憶力がいかに優れたものであるかを述べているが、この部分は接続詞 Although によって導かれる譲歩を表す副詞節なので、主節部分に含まれる空所には、これとは反対に私たちの記憶力についてマイナスの評価をするような表現が入ると考えられる。し

たがって、(9)が正解。

▶第5)文ではこの内容を受けて、私たちの記憶が不完全なものであるために起こる不幸な出来事の例を挙げていることもヒントになる。

▷(4)の misleading「誤解を招く」もマイナスの評価をする表現と考えられるが、空所を含む部分に対する主語が our memory capacities「私たちの記憶容量」であることから、「記憶容量が誤解を招く」では文意が成立せず不可。

問2 下線部和訳問題 ★★☆☆

下線部(2)を和訳せよ。

Whereas it takes the average human child weeks or even months or years to memorize something as simple as a multiplication table, any modern computer can memorize any table in an instant — and never forget it.

【ポイント】

- it takes O₁(人) O₂(時間) to do の表現
- something を修飾する形容詞
- as ... as の表現

訳出のポイントは以下の通り。

- ・接続詞 whereas は「…に対して」の意味で〈対比・対照〉を表す。
- ・it takes O₁(人) O₂(時間) to do は「O₁(人)が…するのに O₂(時間)がかかる」の意味。ここでは the average human child が O₁(人), weeks or even months or years が O₂(時間)にあたる。したがって、この部分は「平均的な人間の子どもが…するのに数週間あるいは数か月から数年もかかる」となる。
- ・memorize の目的語が something as simple as a multiplication table である。これは something を修飾する形容詞 simple が as ... as の形で用いられたもの。「掛け算表と同様に単純なもの」が文字通りの意味。
- ・a multiplication table は「掛け算表」のこと。日本では九九にあたる。英米では 12×12 までであるが、「九九の表」と訳してよい。
- ・any modern computer 以下が主節。any modern computer の any も、can memorize の目的語である any table の any も「どんな…も」という意味。
- ・in an instant は「瞬時に」の意味。
- ・— and never forget it は主節を補足する情報で、

「(…記憶し,) しかも決してそれを忘れないのである」のように処理するとよい。it は any table を指す。

以上から「平均的な人間の子どもは、九九の表のような単純なものを記憶するのに数週間あるいは数か月から数年もかかる一方で、現代のコンピュータならどんなものでも、どのような表も瞬時に記憶し、しかも決してそれを忘れないのである」と訳出できる。

問3 下線部説明問題 ★★☆☆

下線部(3) this process の内容を、句読点を含めて、50字以内の日本語で説明せよ。

【ポイント】

this の指す内容は？

下線部を含む第12)文の前半部分は「最もよい状況であれば、この方法はうまくいく」の意味である。文脈から、this process「この方法」とは人間が記憶を取り戻すときの方法であると考えられる。そこで this の内容を求めてさかのぼると、第11)文に We retrieve information not by knowing where it is but by using cues or clues that hint at what we are looking for. 「私たちは情報がどこにあるかわかっていることによってではなく、私たちが探しているものを暗示するきっかけや手がかりを使うことによって、情報を取り出しているのだ」とあり、これがその方法を表していると考えられる。したがって、この部分をまとめ、「私たちが探しているものを暗示するきっかけや手がかりを使って、情報を取り出すという方法。」のように書けばよい。

問4 下線部説明問題 ★★☆☆

下線部(4) Our mood, our environment, even our posture can all influence our memories. の具体例として述べられている内容を、句読点を含めて、60字以内の日本語で述べよ。

【ポイント】

具体例にあたる部分はどこか？

下線部直後の第16)文に、To take but one example, studies suggest that ... 「1つだけ例を挙げるなら、…ことを研究が示唆している」とあり、これが下線部の内容、特に posture「姿勢」についての例示であると考えられる。したがって、if 以下の内容をまとめ、「たまたま座っている時に覚えた単語は、後になって真っ直

ぐ立っている時よりも座っている時のほうが思い出しやすいということ。」のように書けばよい。

問5 下線部意味選択問題 ★★☆☆

下線部(5) techniques like that can only take us so far. の表す意味として最も適当なものを、次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) まさにこのような技術によって、かなりの成果が得られる。
- (イ) それほどのことができるのは、このような技術だけだ。
- (ウ) このような技術をそこまで利用できるのは、私たちだけだ。
- (エ) このような技術では、その程度のことでしかないのだ。

- ・ only が修飾するものは?
- ・ so far の意味

techniques like that 「このような技術」は第6段落で述べられている、科学的手法によって人間の記憶を向上させる技術のことである。can only ... は否定的に「...することしかできない」の意味になる。take はここでは「連れて行く」の意味。so far は「それほど遠く」の意味だが、only が否定的な意味を表しているため「その程度の距離しか...ない」と解釈することになる。これらをまとめると、直訳的には「このような技術はわたしたちをその程度の距離までしか連れて行くことはできないのだ」となり、これは前述されたような技術の限界を述べた文であると考えられる。したがって、(エ)が正解。

▶直後の第21)文には They can make memories more accessible but not necessarily more reliable, and the improvements are most likely to be modest. 「それらは記憶をより取り出しやすくすることはあっても、その信頼性を高めるわけでは必ずしもなさそうであり、向上はわずかなものである可能性が非常に高い」とあり、これが「このような技術」の限界を具体的に述べた部分であることもヒントになる。

問6 空所補充選択問題 ★★☆☆

空所(6)に入れるのに最も適当なものを、次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えよ。

- (ア) Of course it would.

- (イ) Not at all.

- (ウ) By all means.

- (エ) Why not?

- (ア) もちろんそうだろう。

- (イ) まったくそんなことはない。

- (ウ) ぜひどうぞ。

- (エ) そうしましょう。

※【ポイント】※

直後の文の内容に注目!

空所は直前の第25)文 Would this turn us into computers? 「このことは私たちをコンピュータに変えてしまうのだろうか」に対する答えであり、また、直後の第27)文は、筆者がそのように答える根拠を示していると考えられる。第27)文では、たとえ神経インプラントを行ったとしても私たちの本質的な能力が変わりはなく、考えたり感じたりといったコンピュータにはできないことができるのだということを述べている。したがって、神経インプラントが私たちをコンピュータに変えてしまうことなどはありえないと述べていることになり、第25)文の問いかけに対して否定する応答となる(イ)が正解。

▷(ウ)の By all means. は相手の申し出に対して許可・承諾を与える場合の決まり文句。

[例] "Can I come and have a look at your house?" — "Yes, by all means."

「あなたの家を見に行ってもいいですか」 — 「はい、ぜひいらしてください」

▷(エ)の Why not? は「なぜそうではないのか、そうしないのか」という本来の意味から、相手の提案に同意して「そうしましょう」の意味で用いられることがある。

[例] "More beer?" — "Why not?"

「ビールもっとどう?」 — 「うん、飲もう」

問7 下線部和訳問題 ★★☆☆

下線部(7)を和訳せよ。

But our problem has never been how much information we could store in our memories; it's always been in getting that information back out — which is precisely where taking a clue from computer memory could help.

【ポイント】

- ・間接疑問
- ・非制限用法の which

訳出のポイントは以下の通り。

- ・ how much information we could store in our memories は、could store の目的語が how much information になっている間接疑問。
- ・ it's always been in ... の it は our problem のことであり、it's は it has の短縮形。「それ（＝私たちの問題）はつねに…することにある」のように訳すとうい。
- ・ getting that information back out は get O back out という形になっている。「O を取り出す」のように訳せばよい。
- ・ which は getting that information back out の内

容を指す非制限用法の関係代名詞。ここではカンマ（,）の代わりにダッシュ（—）が用いられている。

- ・ where S V は「…する場所 [場合/点]」の意味。which is precisely where ... は直訳すれば「それがまさに…する場所なのだ」ようになるが、ここで where は具体的な場所を示しているわけではないので、「まさにその点において…だ」のように訳すのがよい。
- ・ where 以下は、taking a clue from computer memory が S、could help が V。

以上から「しかし私たちの問題は、どれだけの情報を私たちの記憶の中に蓄えておけるかということでは決してなかった。問題はつねにその情報を取り出すことにあり、まさにその点においてコンピュータメモリから手がかりを得ることが役立つのである」と訳出できる。

⑥ 英作文

A 整序英作文

【解答】

1. *I never listen to this tune (without being reminded of my high school days).*
2. *You are doing (more harm to yourself than you can imagine by) losing sleep.*
3. *You know you love someone when (the mere thought of losing them brings you to tears).*
4. *It only makes (sense to retake the driving test if there is a real chance of your doing better) than before.*

【配点】(16点)

各4点×4

【解説】

1. ★☆☆

【ポイント】

- ・ never ... without doing
- ・ remind O of A の受動態

「この曲を聞くと必ず(高校時代を思い出す)」は、「(高校時代を思い出すこと)なしにこの曲を聞かない」と読みかえ、never ... without doing「～することなしに決して…ない」を用いて I never listen to this tune without とする。「高校時代を思い出す」は remind O of A「O に A を思い出させる」の受動態である be reminded of A「(S は) A を思い出す」を動名詞句にし、A に my high school days を置いて、being reminded of my high school days とする。以上から、I never listen to this tune without being reminded of

my high school days. という正しい語順が得られる。

2. ★★☆☆

【ポイント】

- ・ do harm to A
- ・ 比較級 + than S can imagine

指定された書き出しに You are doing とあることから、「害がある」は do harm to A「A に害を及ぼす」の表現を用いて、「あなたは自分自身に害を及ぼしている」と読みかえ、You are doing harm to yourself とする。それに合わせて「睡眠不足は」の部分は、「睡眠を失うことによって」と読みかえ、by を文末に指定された losing sleep の前に置いて表す。

「想像以上に」は、比較級 + than S can imagine「S が想像することができるより」の表現を用いることを考える。比較級の部分は「(自分自身に)より多くの害(を及ぼしている)」と考えて、(... are doing) more

harm (to yourself) とすることに注意。

以上から、You are doing more harm to yourself than you can imagine by losing sleep. が正しい語順となる。

▷ You are doing harm to yourself more than you can imagine by losing sleep. は典型的な誤り。「より多くの害を及ぼす」は、do much harm を前提に、do more harm とすることに注意。

3. ★★★

【ポイント】

- the mere thought of *doing*
- bring O to A

「失うと考えるだけで」は、the mere thought of *doing* 「…すると単に考えること」を用いて「彼らを失うと単に考えることが」と考え、the mere thought of losing them とする。「涙が出る」は、bring O to A 「O を A の状態に至らせる」を用いて「あなたを涙を流すような状態に至らせる」と考え、brings you to tears とする。以上から、You know you love someone when the mere thought of losing them brings you to tears. という正しい語順が得られる。

▶ someone を目的格の代名詞で受ける場合は、him (or her) などを用いることもあるが、本問では them で受けている。

▶ bring O to A の例文を挙げておく。

[例] The chill in the room brought him to his

senses.

(その部屋の寒さが彼を正気に立ち返らせた)

4. ★★★

【ポイント】

- make sense
- there is a chance of A's *doing*

指定された書き出しと与えられた語群から、It only makes sense to do 「…する場合のみ意味を成す」という形式主語構文になると判断する。make sense で「意味を成す、道理にかなう」という意味の熟語表現。真主語である不定詞句の部分に「その運転免許の再試験を受ける(こと)」を表す表現が来るが、retake O 「O を再び受ける」を用いて to retake the driving test とする。

「君が実際に前より良い結果が出せる可能性がある場合」は、there is a chance of A's *doing* 「A が…する可能性がある」と do well 「うまくやる」の比較級 do better の表現を用いて、if there is a real chance of your doing better とする。

以上から、It only makes sense to retake the driving test if there is a real chance of your doing better than before. が正しい語順となる。

▶ a real chance of your doing better の your は動名詞の意味上の主語。

B 条件英作文

【解答例】

1. *Had it* (not been for your help, we would have abandoned this plan).
2. *As I* (have missed the last train, I have no choice but to walk home).

【配点】(14点)

1. 6点
2. 8点

【解説】

1. ★★★

【ポイント】

- *Had it not been for* A
- 仮定法過去完了

「あなたの援助がなかったら」は、仮定法過去完了の条件節の決まり表現である *Had it not been for* A 「A がなかったら」を用いる。この表現は *If it had not been for* A という表現の *If* を省略したため倒

置になったものである。「あなたの援助」は your help で表すことができるので、*Had it not been for* your help とすればよい。

・「私たちはこの計画をあきらめていたでしょう」も仮定法過去完了を用いて書く。帰結節の形は <S would have *done*> であり、「この計画をあきらめる」は abandon this plan で表すことができるので、we would have abandoned this plan となる。

2. ★★☆☆

【ポイント】

- ・「乗り遅れる」の表現
- ・「…するしかない」の表し方
- ・「家まで歩いて帰る」の表し方

「終電に乗り遅れたので」の「乗り遅れる」はmiss Oを用いる。または、fail to catch Oとしてもよい。時制は過去形か現在完了形を用いる。「終電」はthe last trainで表すことができるので、前半部はAs I (have)

missed the last train / As I (have) failed to catch the last train のように書くことができる。

「家まで歩いて帰るしかない」は、have no choice but to do / there is nothing for it but to do 「…するしかない」を使って書くことができる。「家まで歩いて帰る」はwalk home / go home on footとする。このhomeは「家まで」という意味の副詞。したがって、後半部はI have no choice but to walk home / there is nothing for it but to walk home とすればよい。

C 本格英作文

【解答例】

My father has started to go out for a walk after dinner every evening, because he was told by one of his co-workers that if he walked his dog, he would slim down.

【別解】 One of my father's friends at work said to him that he would lose weight if he took a walk with his dog, so he has begun to go out for a walk after he eats supper every night.

【配点】 (15点)

【解説】

★★★

【ポイント】

- ・「(Sは) …と言われる」はS is said that … でよいのか?
- ・「お腹が引っ込みますよ」をどう表現するか?

●「父が…毎夕食後に散歩に出かけるようになった」
・「…するようになった」は、いくつかの表現が考えられるが、ここではhas started [has begun] to do [doing]を用いるとよい。「…するのを習慣にする」と考えてmake a habit of doingを使うのもよい。ただし、同義表現として覚えることのあるmake it a rule to doは、やや古風な言い方と感じる人が多く、文法上誤りではないが、好ましいとは言えない。come to doは、「…するという状態になる」という場合に用い、learn to doは学習や訓練により技能や特定の行動を身につける場合に用いるため、ここでは両方とも使えない。本問は「職場の同僚に犬の散歩を勧められて、ある日から急に散歩に行き始める」ということであり、新たな行動をするようになるという意味で使われているからだ。また、become to doという表現はなく、誤りなので使えないことにも注意。時制は現在完了形が最も自然。

- ・「散歩に出かける」はgo out for a walkが定型の表現。go for a walkもほぼ同じ意味を表す。「散歩をする」と考えてtake [have] a walkとしてもよい。
- ・「毎夕食後に」は、after dinner every evening [night]と表現する。簡単な夕食を意味するsupperを用いてafter supper every eveningとしてもよい。注意するのはdinnerもsupperも、通例、無冠詞で用いるということ。dinnerにaがつくのは、「夕食会」や以下のように形容詞を伴う場合である。

【例】 I had a big dinner yesterday.

(昨日は夕食をたっぷり食べた)

afterの後を節構造にしてafter he eats dinner every eveningのように書いてもよい。

●「…と職場の同僚に言われて」

- ・「職場の同僚」はone of his co-workersが最も自然。co-workerならば職場での同僚であるとわかるので「職場の」は unnecessaryになる。one of his friends at work [at the office]と表現することもできる。
- ・「(彼が) …と言われ(て)」では、「言う」という動詞に何を用いるかで正しい表現が変わる。まず、【解答例】にもあるtellを用いる場合、someone told him that … という表現が成立するので、能動態のone of his co-workers told him that … も、受動態のhe was told by one of his co-workers that … も正しい表現となる。次に、sayを用いる場合、ここでの「言

われる」は was said と表現できないことに注意。これは、say が人を目的語にはしないからである。つまり、he was said that ... という表現が成立するためには he が said の目的語となる someone said him that ... という英文がもともと成立しなければならないのだが、この英文は成立しない。正しくは、someone said to him that ... としなければならない。そこで say を用いるなら one of his co-workers said to him that ... とするのが正しい表現となる。また、この部分は主節に対する理由に相当すると考えられるので、because / as などの接続詞を使って主節との関係を示すとよい。【別解】にあるように、この部分の後に so や and を用いる書き方もある。

▷ be said は次のような文においては正しい表現となる。

① say の目的語である発話内容が主語の受動態

[例] Much is said about the place.

(その場所に関してはいろいろと言われている)

② It is said that ... の文

[例] It is said that the place is haunted by a ghost.

(その場所は幽霊が出るそうだ)

③ S is said to do ... の文

[例] The place is said to be haunted by a ghost.

(その場所は幽霊が出るそうだ)

●「犬の散歩をするとお腹が引っ込みますよ」

- ・「犬の散歩をすると」は if he walked his dog とする。これは walk を「…を歩かせる、散歩させる」という他動詞で用いた表現。「犬と散歩に行く」と考えて if he took a walk with his dog, 「犬を散歩に連れていく」と考えて if he took his dog for a walk と表現できる。ここでの「犬」は任意の1匹を意味する a dog ではなく、話者の父の飼い犬のはずなので、his dog / the dog とする必要がある。
- ・「お腹が引っ込みますよ」は「スリムになる」と考えて he would slim down としたり、「体重が減る」と考えて he would lose weight などと表現するとよい。ただし、he would lose his weight とすると、「体重をなくす」という意味になり、不可となることに注意。特に腹回りの肉が落ちることを表現するなら lose weight around his middle などの表現もあるが、「痩せる」という意味が出ていさえすれば解答としては十分である。
- ・この部分は現在形で書くと、if he walks his dog, he will slim down のようになるが、「言われた」とい

う過去形動詞の目的語に当たる部分なので、時制の一致を受け、he would slim down if he walked his dog となる。

【全訳例】

My father has started to go out for a walk after dinner every evening, because he was told by one of his co-workers that if he walked his dog, he would slim down. They come back in an hour or so, and then both my father and the dog look exhausted, which is amusing for some reason. Nevertheless, he doesn't seem willing to give up this habit.

受験直後の復習が大きな差を生む!!

自己採点シート

第3回 全統記述模試

クラス	番号	氏名
-----	----	----

【シートの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」にしたがって自己採点してみましょう。
 ②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとに比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の☆に色を塗りましょう。
 ③色を塗った☆の設問番号を中心に具体的な補強策を考え、「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。
 →さらに個人成績表の返却後、統計集についている「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう!!

総合計(第3回全統記述模試)

自己採点

実際の得点

成績表の返却後、得点を記入しましょう。

教科・科目	設問ごとの得点								合計	今後の課題と学習プラン	第3回全統記述模試 得点
	1	2	3	4	5	6	7	8			
英語	リスニング	中文空所補充 ☆	文法・語法 ☆	長文総合問題 ☆	長文総合問題 ☆	英作文 ☆					
	小問集合	/15 ☆	/15 ☆	/20 ☆	/60 ☆	/60 ☆	/45 ☆		/200		/200
数学 Ⅰ・ⅠA型											
	小問集合	/60 ☆	/40 ☆	/40 ☆					/100		/100
数学 ⅡA・ⅡB型											
	小問集合	/50 ☆	/50 ☆	/50 ☆	/50 ☆	空間ベクトル ☆	/50 ☆		/200		/200
数学 ⅢB・ⅢC型											
	小問集合	/40 ☆	/40 ☆	/40 ☆	/40 ☆	空間ベクトル ☆	微積分総合 ☆	2次曲線 ☆	/200		/200
現代文型											
	現代文(評論)	/60 ☆	/40 ☆	/40 ☆	/40 ☆	現代文(小説) ☆			/200		/200
理・古型 現代・漢型											
	現代文(評論)	/60 ☆	/40 ☆	/40 ☆	漢文(史伝) ☆	現代文(小説) ☆			/150		/150
物理											
	物理	/60 ☆	/40 ☆	/50 ☆	/50 ☆	運動方程式 ☆	運動回路 ☆		/200		/200
	物理	/33 ☆	/34 ☆	/33 ☆	/34 ☆	/33 ☆			/100		/100

*選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

受験直後の復習が大きな差を生む!!

【シートへの使い方】

- ①問題冊子と「学習の手引き」にしたがって自己採点してみてください。
 - ②満点に対してどれだけ得点できたかを設問ごとに比較し、「特に克服・補強すべき」と思う分野の☆に色を塗りましょう。
 - ③色を塗った☆の設問番号を中心に具体的な補強策を考え「今後の課題と学習プラン」の欄に記入しましょう。
- さらに個人成績表の返却後、統計集にしている「見直しシート」を活用して、復習を万全にしましょう!!

成績表の返却後、得点を記入しましょう。

教科・科目	設問ごとの得点								合計	今後の課題と学習プラン	第3回全統記述模試 得点
	1	2	3	4	5	6	7	8			
化学	ダニエル電池	芳香族化合物	熱化学反応速度	導電平衡	芳香族化合物	窒素の単体と化合物	小問集合				
	☆ /20	☆ /30	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /30	☆ /25	☆ /25	/100		/100
生物	植物の反応	血漿量調節	遺伝子	免疫	遺伝	動物の行動					
	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /25	/100		/100
地学	地震	岩石の生成と過程	地球の歴史と生物の進化	恒星の性質と惑星状星雲	海洋の循環	日本列島の地質構造とテクトニクス	地上天気図	銀河系と宇宙			
	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	/100		/100
世界史B	地中海沿岸地域の歴史	オランダの歴史	自由貿易体制の展開と拡大	科学技術の歴史							
	☆ /24	☆ /26	☆ /26	☆ /24					/100		/100
日本史B	原始～近世初期の建築	江戸時代三大改革	近代の日朝・日韓関係	近現代の貨幣・金融							
	☆ /30	☆ /30	☆ /20	☆ /20					/100		/100
地理B	世界の気候・植生・土壌	人口・都市	交通と物流・人の移動	ヨーロッパ地域							
	☆ /25	☆ /25	☆ /25	☆ /25					/100		/100
政治・経済	国際経済の動向と問題点	市場経済の特徴	戦後日本の政治過程	行政改革と地方分権の推進	国民福祉の現状と課題						
	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20				/100		/100
倫理	源流思想報告	日本の近現代思想	市民社会の倫理	国際化と倫理的課題	現代社会と青年						
	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20	☆ /20				/100		/100

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

キリトリ

キリトリ

